

令和5年度鹿児島県優秀教職員表彰 47人と3組織が決まる！

教職員課

令和5年度鹿児島県優秀教職員表彰の表彰式、意見交換会を実施しました。



11月22日(水)に令和5年度鹿児島県優秀教職員47人及び教職員組織3組織の表彰を行いました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対して、その功績を表彰し、併せて本県教職員の意欲及び資質能力の向上に資することを目的として、平成20年度に始まり、今回で16回目となりました。また令和2年度からは、教職経験が10年未満で、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げ、今後更なる活躍が期待できる教職員を「若手教職員等奨励賞」として表彰しています。

表彰式は、11月22日(水)に県庁で行われ、教職員個人の部では、小学校24人、中学校12人、高等学校7人、特別支援学校4人が表彰されました。このうち小学校2人、中学校1人、高等学校2人が「若手教職員等奨励賞」として表彰されました。また、教職員組織の部では小学校1組織、中学校1組織、高等学校1組織が表彰されました。教職員個人の各分野の受賞者数は、学習指導分野18人、生徒指導分野4人、進路指導分野3人、学校体育・学校保健・学校給食分野3人、特別支援教育分野3人、部活動指導分野4人、学校事務分野1人、その他(学校運営・地域連携等)11人となっています。

表彰状授与後、受賞者を代表して喜界町立早町小学校の海老原幹誠教諭が、「これまで勤務してきた学校で、微力ながらも子供たちの指導に携わり続けることができたのは、上司や同僚、保護者、そして、県教育委員会をはじめ、関係者の皆様に支えられたお陰であると感じております。本県教育振興基本計画の基本目標『夢や希望を実現し、未来を担う鹿児島の人づくり』の実現のため、笑顔あふれる子供たちのため、私たち受賞者全員が、これまで以上に研究と修養に努め、先頭に立って児童生徒を育ててまいります。」と挨拶しました。

表彰式終了後は、教育委員を交えた意見交換会を行い、教育委員から優秀教職員の実践に対して様々な質問が出されました。また、優秀教職員の方々も他の方々の実践を直接聞くことで、新たな刺激を受けているようでした。



〔意見交換会の様子〕

県教育委員会ホームページに、
受賞者の教育実践を紹介しています。

